

注：指示があるまで開けないで下さい。

総合防犯設備士資格認定試験

第一次試験(筆記方式)

A 基礎問題 (必須)	
出題	10 問
時間	90 分
配点	1 問 20 点・合計 200 点

受験番号	— —
氏 名	

注意事項

1. 座席は指定されています。受験番号を確認して着席して下さい。
2. 机の上には「受験票」「筆記用具」以外のものは置かないで下さい。
3. **受験番号・氏名は、はっきりと記入して下さい。**
4. 解答は、設問にしたがって記入して下さい。
5. 「試験問題」・「解答用紙」は試験終了後すべて回収します。
6. 試験時間内に退席される場合は、試験問題・解答用紙を机の上に置き試験官の許可を得て静かに退席して下さい。
ただし、試験開始後30分、および試験終了前10分間は退席できません。
退席後、試験会場近辺では、静かにお願いします。
7. 試験会場においては、試験官の指示にしたがって下さい。



問題-1 (セキュリティについて1)

安全で平和な生活と組織活動を継続するための資源であり、財産であるリソースを記入例にならって五つ記せ。

番号	分類	リソース
①	無体物	
②		
③		
④	有体物	かね(金)
⑤		
⑥		

問題-2 (セキュリティについて2)

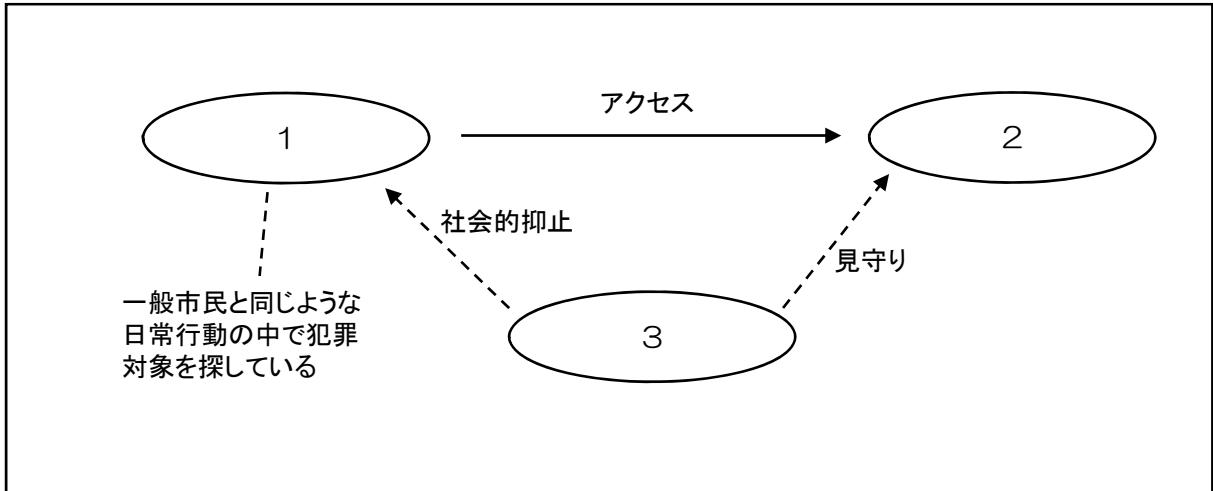
サイバー犯罪の特性について記入例にならって空欄を埋めよ。

①	匿名性が高く犯人を特定しにくい
②	
③	
④	
⑤	

問題－3（防犯の理論）

フェルソンによって発表された日常（習慣）行動理論では、下図の1から3の要素が同じ時間と同じ空間に日常的に揃うと、犯罪が起こりやすくなるとしている。この考え方は、犯罪発生 の構図として自治体などで発行される防犯対策のガイドブックにも取り上げられている。

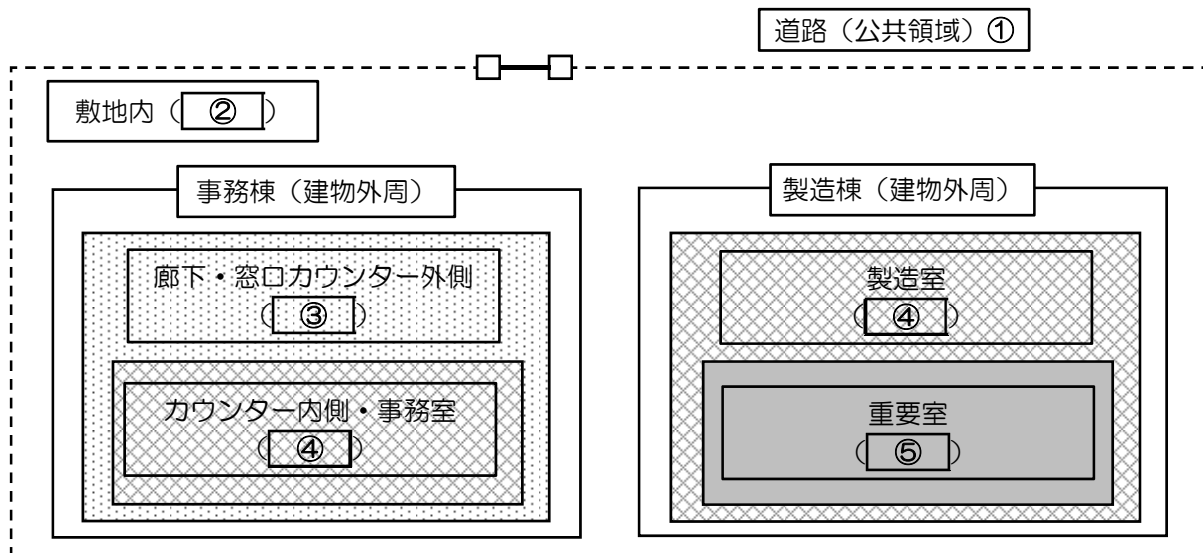
その三つの要素を下表に記せ。



①	
②	
③	

問題－4（防犯対策の考え方）

防犯対策を検討するうえでは、対象となる施設・建物の各部分、すなわち各領域が防犯上どのような性格を持っているかを整理することが重要である。なお、ここでいう領域とは、使用用途、使用形態、セキュリティの重要度などで区分け整理した区域（エリア、ゾーン）をいう。下図は、ある工場の物理的な場所に着目した領域の分類の例である。図内の②～④に相当する領域名とその説明を記入例にならって下表に記せ。



解答欄

	区域	領域名	説明
①	道路	公共領域	人の行動を制約できない領域
②	敷地内		
③	廊下など		
④	事務室・製造室など		
⑤	重要室	特定部	特定の権限がある人以外入室を拒否する領域

問題－5（防犯設備の構築）

防犯カメラシステムの実施設計の手順を記入例にならって五つ記せ。

	手順
①	カメラ方式の決定
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

問題－6（防犯設備の設計）

ネットワークカメラシステムの特徴を記入例にならって五つ記せ。

①	映像の高画素化(高解像度化)が可能で、200 万画素以上のものもある。
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

問題－7（総合防犯監査1）

総合防犯監査に用いる主な監査技法は四つあるが、各技法の名称とその内容について簡潔に記せ。

技法の名称	内容
レビュー	
	担当者などに質問し、状況を確認する。

問題－8（総合防犯監査2）

総合防犯監査報告書の作成に当たって、留意する点を記入例にならって三つ記せ。

①	評価は、客観的・簡潔・明瞭に記述する。
②	
③	
④	

問題－9（総合防犯1）

総合防犯監査を実施する上で、総合防犯設備士に期待されるものに、テクニカルスキル、ヒューマンスキル及び社会的責任がある。ヒューマンスキルを記入例にならって五つ記せ。

	ヒューマンスキル
①	チームを正しい方向に導くリーダーシップ
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

問題－10（総合防犯2）

防犯コンサルティングについての説明で、次の空欄にあてはまる内容を、記入例にならって記せ。

「防犯コンサルティングとは、（①）からの要望に基づき（②）な立場から防犯に関する課題の（③）と（④）の提案を行い、防犯対策の適切な（⑤）・（⑥）の実現を図る活動を言う。」

	防犯コンサルティングとは
①	依頼主
②	
③	
④	
⑤	
⑥	